

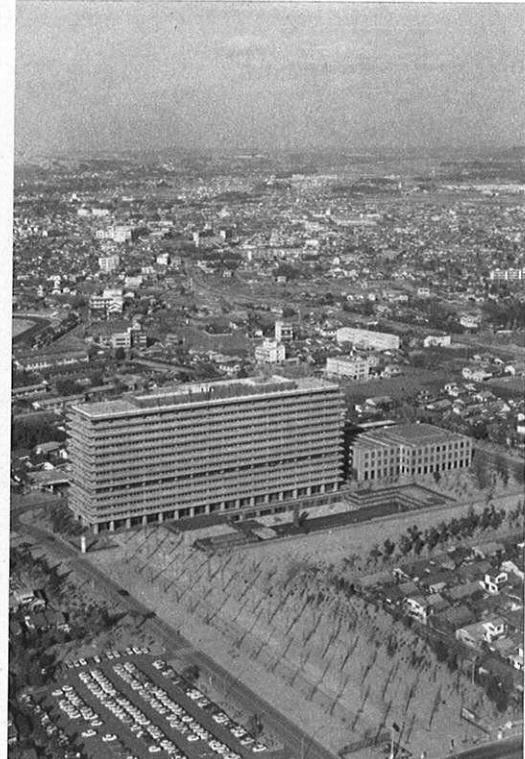
▲果しなくひろがる草原に阿蘇大規模草地改良基地が点々と見える



▲熊本市白川の上空。
上流から、大甲・安己・銀座・
新世継・世継の各橋が見える。



▲九州縦貫道植木インター付近の建設状況。中央を横切るのは国道3号線。スケールの大きさがわかる。



▲県庁舎が見えた。その向うは水前寺競技場だ。

県庁舎が逆光の中で空母のようにみえる。ひらけゆく熊本市東部地区の周辺は、住宅団地がマッチ箱のように並ぶ。森の中の古城とビル、その後の金峰山麓はみかん生産団地がリズミカルにひろがる。機は一路北へ—九州縦貫道の巨大な“改造劇”がもう真下に展開されていた。

機はセスナ。ひと思いに新春の空を東へ—高度一〇〇〇、眼下に大津街道の白い線。工場団地、住宅群が点在する。新空港の細長い方形がグーンと伸びている。阿蘇はもうすぐそこ。白い噴煙がたなびく。靈峰は、たどえようもない威厳がある。外輪山の深い山ひだ。阿蘇谷の温泉街が赤・グリーン・白とカラフル模様だ。瀬の本の草原をどこまでも縫う九州横断道路の上を機影が走る。



▲大津街道沿いに立ちならぶ工場群。



▲2000メートルの滑走路が形をあらわした。新空港は、この秋の開港をひかえて作業も急ピッチに…。